



TOPICS



- ◇ 老子「上善の言葉」
- ◇ 人の輪 数珠つなぎ ～石田工業株式会社 石田由美子社長インタビュー～
- ◇ 事務所NEWS ～新入社員通信① 大江未咲編～
- ◇ 今月のスタッフの声
- ◇ お仕事備忘録
- ◇ 編集後記

老子「上善の言葉」

道の道とすべきは、常の道に非ず。
名の名とすべきは、常の名に非ず。



これが「道」だと説明できるようなものは、真実の「道」ではない。
これが「名」だと呼べるようなものは、本当の「名」を表してはいない。

『老子』の冒頭にあることばです。「道」はかたちもなく、ことばでしめすことはできないもの。説明して伝えられるような道は本当の「道」ではないし、名を付けて表せないところに真実はひそんでいるというのです。

他人の説明を鵜呑みにしたり、ものごとに名前を付けてあれこれ区別し、わかったつもりになって生きるより、もっと根源的な大いなるものにしがって生きるのが本当さー老子のそんな思いが伝わってくる冒頭の句です。

宮下真著「心の疲れがすうっと消える 老子 上善の言葉」より抜粋

【発行者】

長田会計事務所
大阪市中央区徳井町2-2-9-701
TEL 06-6944-2111 FAX 06-6944-2110
Mail nagata@office-smile.jp
HP <http://office-smile.jp/>

【編集部】

編集長 大江 未咲（おおえみさき）
部員 遠藤 悦代（えんどうえつよ）
小倉 優花（おぐらゆうか）
発行責任者 長田 雅子（ながたまさこ）

☆ 4月より、未来そうぞう塾を開講します！☆
詳しくは別紙のご案内をご覧ください。



人の輪 数珠つなぎ

弊所とお付き合いのある、元気なお客様を紹介するコーナー。

第1回目は、石田工業株式会社 代表取締役 石田由美子社長 をご紹介します！

由美子社長は、もともと商船会社で6年ほど勤務されていましたが、先代の社長であるご主人とのご結婚を機に会社を手伝うようになったそうです。そしてご主人が亡くなられたあとは4代目社長として、日々奮闘されています。

長田所長（以下 長）どのようなお仕事をされていますか？

石田社長（以下 石）板金工事や設備工事をしています。大正13年に創業し、昭和46年に法人化しました。もともと1代目は、かんざしの飾り職人でした。そして、2代目はお寺の飾り職人として銅版などを扱っており、そこから板金へとつながっていきました。

主人が2代目から事業を引き継いだときは沢山の借金もあり大変でしたが、これからはエアコンが増えるということで先を見てダクトや空調設備もやるようになり仕事が増えました。

バブルの頃は景気もよく、また取引先や支えてくれる方々に恵まれたことで売上も伸びましたが、その後は売り上げも落ち、資金繰りが大変な時期もありました。主人は売上が伸びた時はもっと会社を大きくしたいという思いもあったようですが、結果としてはこれでよかったと思っています。とにかく地道にコツコツが大切。一日一日、人とのつきあいを大切にしています。

主人が亡くなる前、自分が亡くなったら苦勞をさせたくないのでは会社は閉めてもよいと言っていました。社員や取引先のこともあり、なんとか続けようということで、自分が社長に就任することになりました。今も昔も自分の力の中でできることをやっています。

長 では、普段どのような思いで経営をされていますか？

石 積極的な営業はほとんどしたことがありません。というのも、主人は技術屋でしたし、上手を言って取り入るような人ではなかったからです。

人との関わり方がすごく大切だと感じており、できる限り本音で話すようにしています。誠意を伝えるということです。設備は見えない部分ですが、手抜きはせずお互い暗黙で信頼し合える関係でいることが商売での一番のポイントだと思います。それは取引先に対しても下請業者さんに対しても同じです。そうしてきたことが、今でも取引につながっていると信じています。

長 今後の将来像をどのようにイメージされていますか？

石 長年働いていただいている番頭さんや私がお互い元気に働けるうちは続けていきたいです。そして、仕事が生きていく目的にもつながるので、自分の元気のためにも続けたいと思っています。

長 本日は大変貴重なお話をありがとうございました。明るく元気な石田社長はインタビュー中も終始笑顔でお答えくださり、それが“つながり”を大切にしている経営に結びついているのだと強く感じました。



九条にある社屋



施工した設備



施工現場の風景



石田工業株式会社 代表取締役 石田由美子様

(所在地) 〒550-0025 大阪府大阪市西区九条南2丁目10-12 TEL:06-6581-7403

新入社員通信① ～大江未咲さん編～

2016年は長田会計事務所にたくさんの仲間が加わりました。3月にはインターンシップ生として5名の大学生たちが。10月からは「税理士になりたい!」という2名の女性たちが。皆それぞれ、希望を持って、楽しんで働いてくれています。昨年はインターンシップ生たちをご紹介したこのコーナー。今年には新入社員の2人をご紹介します。



☆前職ではどんなことをしていましたか？

まちづくりに関するコンサルティング会社で補助として働いていました。市町村の計画策定のお手伝いや、文化振興のお手伝いを担当していました。色々な地域の方と関わることで、それぞれ様々な想いがあることを知りました。私は和歌山県の田舎育ちなので、日本の地方が活性化すればうれしいなと思っています。

☆好きな事・趣味は何ですか？

旅行が好きで毎年色々出かけます。去年は小豆島や徳島県の祖谷に行って来ました。今年も旅行ができるように、仕事も頑張ります！

☆なぜ、長田会計事務所で働こうと思いましたか？

知り合いの派遣会社から、募集があるので受けてみないかと声を掛けていただき、かねてより会計業界に興味があったため、受けてみようと思ったことがきっかけです。

☆働いてみる前と後の会計事務所の印象を教えてください。

静かに黙々と作業をしているイメージがありました。働いてみると、みんな黙々と作業しているかと思えば、突然話に花が咲き盛り上がるような和気藹々とした事務所でした。なんでも楽しみを見つけながら仕事をしている人が多いと感じます。

☆働いてみて、楽しかったことを教えてください。

所内で勉強会を月に2回開いてもらい、インターンシップの学生さんと一緒に会計や税務について勉強しています。若い子たちと一緒に勉強するのは、刺激的でとても楽しいです。また、勉強会では会計や税務以外に、自分を知るワークショップなどもあり、普段考えないことを考える時間がとても面白いです。



☆これからどんなことをやってみたいですか？

仕事でもプライベートでも出会った人との縁を大事にしていきたいです。



☆所長よりひとこと

せかせかしている私とは違って、大江さんはゆったりして穏やかに居られるので、私が事務所に帰ってきたときにほっとする存在です。街に関するイベントに参加したり、新しい情報をみなさんに伝えてくれたりして、自らも楽しみながら人と一緒に過ごされていると感じます。先月より長田会計事務所の広報部の部長になってもらいました。いろんな経験を活かして事務所で活躍してもらえたらと思います。



今月のスタッフの声

長田 豊

先日TVで見たが、利き手の薬指と人差し指はどちらが長いかで、男性脳か女性脳かの診断ができるそうだ。

薬指の方が長い人＝男性脳、人差し指の方が長い人＝女性脳、どちらの指もほぼ同じ長さであれば中間だ。

この診断方法は「二本指の法則」と呼ばれ、イギリスの心理学者ジョン・マニングを中心に研究が行われている。

胎児の頃に男性ホルモンを多く浴びると薬指が長くなり、逆に女性ホルモンを多く浴びると人差し指が長くなる。性ホルモンは体だけでなく脳にも影響を与えるため、指の長さで男性脳と女性脳を診断できるそうだ。



福本 夏子

2月になり、節分では恵方巻きを食べました。願い事は健康、家族団欒、平穏そして就職活動が順調に運ぶことです。数が多く欲深いかもかもしれませんが、意識することで変わると思うので、おいしく食べながら黙々と何度も頭に浮かべ、願いました。

また、就職活動でこれから忙しくなるので、今のうちに友人とたくさん会って、気持ちを上げていきたいと思います。



野間口 慶

大学の後期試験が無事終わりました。それと同時に、地元の鹿児島から大阪へ出てきて3年が経つことを考えると本当に早く感じます。それだけ長田会計事務所での活動をはじめ、毎日の生活が充実しているからだと思います。

そして、3月から本格的に始まる就職活動。大好きな鹿児島で働けるように一生懸命頑張ります。



長田 雅子

弊所は入り口から手前の部屋は応接室、奥の部屋はスタッフルームとなっており、誰かがドアをあけても気づかないことがありました。

そのため、スタッフから不安だという声があがり、ドアを開けると奥の部屋に無線機が電波をキャッチし、”ピンポン”となる装置をつけました。

これからは来客にもすばやく対応でき、スタッフも安心して働ける環境を整えることができました。



小倉 優花

先日、京都にあるメーカーの工場を見学する機会がありました。京都本社のある会社とあり、外観から緑を基調とした京都らしさが溢れていて、とても素敵だと感じました。この会社は、ノーベル賞受賞者を生み出し、世界初のモノづくりを行う会社です。担当の方のお話を聞くうちに、日本のモノづくりの技術レベルの高さに感動しました。

私は、中学高校大学の約9年間を京都で過ごしてきましたが、このような技術を持つ会社が京都で生まれ、今では世界で活躍していることを知り、とても嬉しく思いました。



玉川 晃基

先日、部活の追い出しコンパがありました。可愛がってくださった先輩方が卒業し、自分達が最学年となりました。大学入学から3年が経過し、入部から2年経ちました。

あっという間の大学生活で残すところあと1年。学生生活が終わってしまうことが想像できません。就職活動も部活も全て楽しんで、悔いの残らない学生生活であったと言えるように過ごします。



今月は、個人の確定申告期限であると同時に、3月決算の会社にとっては、年度最終時期です。もれのないよう処理をしましょう。

2017年3月

お仕事備忘録

1. 国外財産調書
2. 財産債務調書
3. 確定申告の税額の延納の届出書
4. 個人の青色申告の承認申請
5. 所得税の更正の請求
6. 入社式の準備と最終確認

編集後記

今月も最後まで読んでいただき、ありがとうございました。

今月の所内インタビューは編集長の大江未咲です。持前の明るさで編集長として紙面づくりを楽しんでくれると思います。

来月もよろしく願いいたします。

